



# 高校生のための 公開講座

## ことばの不思議と美しさ



2025  
**07.26** [土]  
10:00~11:30  
※オンライン  
(Zoomウェビナー) 形式

受講料無料  
高校生/  
定員200名  
(先着順)



講師：漆原朗子

東京女子大学  
現代教養学部  
人文学科英語圏文化専攻  
教授

詳細・お申込みは  
こちらから



[https://www.twcu.ac.jp/main/event/2025/seminar\\_student2025.html](https://www.twcu.ac.jp/main/event/2025/seminar_student2025.html)

# 講義内容

言語は人間特有の能力です。したがって、遺伝的障害がなく、適切な言語環境で育てば3歳頃までに自分の第一言語（母語）の文法を習得します。

しかし、そもそもヒトはどのようにして言語を習得するのでしょうか。私が研究している生成文法理論では、言語能力は生得的で、子供は一般的に考えられているように親や周りの保育者の模倣をして言語を学ぶのではなく、必要な条件が整えば自然に言語能力が発動されていくと考えられています。

そして、それは種としてのヒトに共通なので普遍的で、すべての言語の文法は普遍文法（Universal Grammar）の上に成り立っていると考えられています。それでは、なぜ世界の言語は異なっているのでしょうか。本講座ではそれらの問いを一緒に考えます。

# 講師紹介

## ■経歴

1989年3月 上智大学大学院外国語学研究科言語学専攻博士後期課程単位取得満期退学

1994年2月 米国ブランダイズ大学大学院心理学研究科言語学・認知科学専攻修了

1994年4月 北九州大学（当時）文学部比較文化学科講師に着任、同学科助教授、教授を経て、

2006年4月 北九州市立大学基盤教育センター教授・副センター長、その後、同センター長、大学副学長を歴任、2025年4月より現職。

## ■現在の研究・関心

言語学・生成文法理論の枠組みによる形態論・統語論研究、日本語・英語・朝鮮語等の形態統語的比較研究

## ■主な著書

*Syntactic Categories and Extended Projections in Japanese, doctoral dissertation, Brandeis University, 1994. (Published from UMI)*

『レキシコン研究の現代的課題』（共著、くろしお出版、2021年）

『分散形態論の新展開』（共著、開拓社、2023年）他多数

# お問い合わせ

東京女子大学 教育研究支援課

E-mail:koukaikouza@gr.twcu.ac.jp

TEL:03-5382-6470

月～金（祝日を除く）9:00～11:25、12:25～17:00

閉室日：土・日・祝日